

◎ 令和元年度 英語科 第1学年 年間指導計画・評価計画

- 1 「外国語科」の目標（『学習指導要領』第9節外国語 第1目標 より）
外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。
- 2 英語 目標（『学習指導要領』第9節外国語 第2 格言語の目標及び内容等 より）
 - (1) 初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。
 - (2) 初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。
 - (3) 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。
 - (4) 英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。
- 3 評価の観点及びその主旨（『評価規準の作成のための参考資料』国立教育政策研究所 教育課程研究センター より）
 - ア：コミュニケーションへの関心・意欲・態度
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
 - イ：外国語表現の能力
外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。
 - ウ：外国語理解の能力
外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。
 - エ：言語・文化の知識・理解
外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。

4 指導計画・評価計画

月	時数	単元（教材）名	到達目標・評価規準	学習内容・評価方法	評価の観点			
					ア	イ	ウ	エ
4	7	Get Ready 1~5 〈主な言語材料〉 基本的なあいさつ表現 Classroom English アルファベット大/小文字 アルファベットの音 フォニックスを取り入れた基本的な単語のつづり	<ul style="list-style-type: none"> ○始業・終業のあいさつを英語で言うことができる。 ○英語の指示を聴いて、その指示を理解し行動することができる。 ○アルファベットの正しい形を理解し、実際に書くことができる。 ○アルファベットの大文字と小文字の形の違い、使い方の違いを理解し実際に使い分けることができる。 ○自分の名前(姓名)を、アルファベットを使って書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○始業・終業時に英語であいさつする。(観察) ○授業内で出される英語の指示を聴き、指示された内容を実践する。(観察) ○アルファベットを順番に発音する。(観察) ○アルファベットを練習する。(ノト・小テスト) ○自分の名前を、アルファベットを使って書く。(ノト・小テスト) ○単語のつづりを見て、実際に発音する。(観察) 	◎	○	○	○
4		Lesson 1 〈主な言語材料〉 I am You are Are you ...? I am not am/are を使った肯定文/ 疑問文/否定文	<ul style="list-style-type: none"> ○間違いを恐れずに、積極的に自己紹介をすることができる。 ○自己紹介文を英語で書くことができる。 ○自己紹介を、英語で言うことができる。 ○自己紹介を聴いて、大切な情報を正しく聴き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○登場人物の気持ちになって、本文を音読する。 ○新しい文構造を、パターンプラクティスの手法で繰り返し練習する。(観察・発言) ○自己紹介文を、その形式を理解し5文程度で書く。(ワークシート) ○自己紹介をする。(パフォーマンステスト) ○クラスメートの自己紹介を聴く。(観察) 	○	◎	○	

月	時数	単元（教材）名	到達目標・評価規準	学習内容・評価方法	ア	イ	ウ	エ
5	5	Lesson 2 〈主な言語材料〉 This/That is He/She is Is that ...? This is not is を使った肯定文/疑問文/否定文 What is this?	<ul style="list-style-type: none"> ○人や身近なものについて説明する文を、英語で書くことができる。 ○人や身近なものについて、説明する文を英語で言うことができる。 ○人や身近なものについて説明する文を聴いて、その内容を正しく聴き取ることができる。 ○人や身近なものについて、英語で尋ねることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本文を、意味のまとまりを意識し音読する。 (観察) ○本文で説明されている人やものについての情報をまとめる。 (ワークシート) ○新しい文構造を、パターンプラクティスの手法で繰り返し練習する。 (観察・発言) ○身近な人について実際に説明する文を言う。 ○身近なものや人について英語で質問する。 (以上発言・発表) 		◎	○	○
	1	Words and Sounds 2 〈主な言語材料〉 7 曜日 9 教科名	<ul style="list-style-type: none"> ○7 曜日を英語で言うことができる。 ○英語を聴き、曜日を理解することができる。 ○中学校で学習する教科名を英語で言うことができる。 ○曜日を教科名を使って、自分の時間割を英語で言うことができる。 ○英語を聴いて、相手の説明する時間割を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○7 曜日を正しい順番で繰り返し発音する。 (暗唱テスト) ○9 教科名を英語らしい特徴的な音で発音する。 (観察) ○ペアで、ある曜日の時間割を、英語で言ったり聴いたりする。 (観察・発表) ○自分の時間割についての質問に答える。 (パフォーマンステスト) ○自分の時間割の一部を、英語で書く。 (ワークシート) 	○	◎	◎	○

	1	Words and Sounds 3 〈主な言語材料〉 1日の生活を表す語彙	○1日の生活を表す表現を、一般動詞を使って言うことができる。 ○時刻を組み合わせて、何時に何をするかを英語で言うことができる。 ○相手の英語を聴いて、その内容を正しく聴き取ることができる。	○1日の生活を表す動詞句を、英語らしい特徴的な音に注意して練習する。 ○時刻を組み合わせ、何時に何をするかを英語で言う。(以上観察) ○自分の実際の生活を英語で言ったり、自分の生活についての質問に答える。(パフォーマンス)	○	◎	○	
	1	Let's Talk 3 〈主な言語材料〉 Where is ...? 呼びかける 聞き直す お礼を言う	○疑問詞 where を使って、場所を尋ねることができる。 ○ under, in, on などの前置詞を使って、場所を説明することができる。 ○相手の説明を聴き、ものがある場所を正しく理解することができる。	○ペアで、ダイアログを練習する。 ○語彙を置き換えて、新しいダイアログを練習する。(以上観察) ○教室や校舎、町など身近な環境にあるものの場所を英語で尋ねたり、答えたりする。(パフォーマンス)	○	◎	○	
	4	Lesson1~3 文法まとめ 〈主な言語材料〉 be 動詞現在形を使った、肯定文/疑問文/否定文 一般動詞を使った肯定文/否定文/疑問文 ※主語は1・2人称に限定 疑問詞 what/where を使った疑問文とその答え方	○ be 動詞現在形 (am/is/are) と主語の正しい結びつきを理解することができる。 ○ be 動詞を使った肯定文/疑問文/否定文それぞれの、正しい語順を理解し、運用することができる。 ○一般動詞を使った肯定文/疑問文/否定文それぞれの、正しい語順を理解し、運用することができる。 ○疑問詞 what を使った文の正しい語順を理解し、運用することができる。 ○主な語彙の発音・意味・つづりを正しく身につけている。	○演習プリントの問題に取り組む。 ○演習プリントの模範解答を確認する。 ○間違えた部分についての解説を共有し、理解を深める。(以上観察、演習プリント) ○基本文の空所補充問題に取り組む。(小テスト) ○語彙に特化した演習プリントに取り組む。 ○演習プリントの模範解答を確認する。 ○間違えた部分についての解説を共有し、理解を深める。(以上観察、演習プリント)				◎

				ア	イ	ウ	エ
1	発音とつづり (Phonics) アルファベット 26 文字がそれぞれもつ音 英語に特徴的な音と文字	<ul style="list-style-type: none"> ○母音字 a/e/i/o/u それぞれの、2通りの読み方を身につける。 ○子音字 21 文字の読み方を知り、有声音と無声音の違いを理解する。 ○まぎらわしい子音字の音の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実際に、例題となる単語を発音する。 ○自分が発音している音を聴く。(観察) ○ペンマンシップを使い、発音した単語を書いて練習する。(ペンマンシップ) 	○			◎
6	Lesson 4 〈主な言語材料〉 I have two bags. How many ...? 名詞の複数形 命令文(肯定文/否定文) Let's	<ul style="list-style-type: none"> ○名詞を複数形で使う理由を理解することができる。 ○名詞の複数形を書いたり、発音したりすることができる。 ○複数のものであることについて、話したり聴いたりすることができる。 ○相手に命令する表現を言うことができる。 ○相手に、あることを禁止する表現を言うことができる。 ○相手の命令や禁止の表現を聴き、それに応答することができる。 ○相手を誘う表現を知り、それに応答することができる。 ○自然環境について、関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○名詞の複数形の 2通りの語尾 -s/-es を書いたり、発音したりする練習をする。 ○本文を、名詞の複数形の発音や、複数形を使う理由や状況を理解し、音読する。(以上観察) ○本文の内容を、読みとる。(ワークシート) ○新しい文構造を、パターンプラクティスの手法で繰り返し練習する。(観察・発言) ○ペアでお互いに、相手の身近な持ち物などについて尋ねたり、答えたりする。(観察) ○毎日の学校生活で使われる、命令や禁止の表現を英語で練習する。 ○毎日の生活の場面で、相手を誘う表現を練習する。(以上観察・発言) 		◎	○	◎
7							

3	Lesson 4 文法のまとめ (主な言語材料) 名詞の複数形 How many ...? 命令文(肯定文/否定文)	○名詞を複数形で使う理由を理解することができる。 ○ How many ...? の文構造の特徴を理解し、運用することができる。 ○命令・禁止の表現の文構造を理解し、運用することができる。 ○ Let's.... の文構造の特徴を理解し、運用することができる。 ○名詞の複数形の語形変化のパターンを正しく身につけている。	○演習プリントの問題に取り組む。 ○演習プリントの模範解答を確認する。 ○間違えた部分についての解説を共有し、理解を深める。 (以上観察、演習プリント) ○基本文の空所補充問題に取り組む。 (小テスト)						◎

月	時数	単元(教材)名	到達目標・評価規準	学習内容・評価方法	評価の観点			
					ア	イ	ウ	エ
	2	Words and Sounds 4	○四季を英語で言うことができる。 ○四季を表す語彙を使い、好きな季	○四季と12月を表す語彙を、アクセントや特徴的な音に注意して練習する。 (観察)	○	◎	○	

		<p>〈主な言語材料〉 四季と12月の各語彙</p>	<p>節について尋ねたり答えたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○12月を英語で言うことができる。 ○12月を表す語彙を使い、季節の行事について、英語でたずねたり、答えたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○先生や友だちの英語を聴いて、その人の好きな季節を聴き取る。(ワークシート) ○自分の好きな季節について説明する。 ○日本の特徴的な行事とその月を英語で表現する。(発表、パフォーマンス) 				
	1	<p>Let's Listen 1 〈主な言語材料〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○メモを取るなどの工夫で、より多くの情報を聴き取ろうとする姿勢を身につける。 ○英語以外の音から、場面の状況を推測する姿勢を身につける。 ○電話の音声案内に使われている情報を、より多くしかも正確に聴き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音声を聴く。 ○音声を聴きながら、メモを取る。 ○音声を繰り返し聴く。(以上観察) 	○		◎	
	1	<p>Let's Talk 4 〈主な言語材料〉 How much ...?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○買い物の場面で、値段を尋ねたり答えたりすることができる。 ○相手にものを差し出すときの表現を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○モデルダイアログを練習する。 ○語彙を置き換え、新しいダイアログを練習する。(以上観察) ○ペアで、身振りや表情などを工夫しながらダイアログを演じる。(観察・発表) 	○	◎	○	

8/9	7	Lesson 5 〈主な言語材料〉 Who is ...? 人称代名詞(目的格) When do you ...? Where do you ...?	<ul style="list-style-type: none"> ○家族や友だちについて、英語で尋ねたり答えたりすることができる。 ○目的格の人称代名詞の使い方を理解し、運用することができる。 ○who/when/where を使って、人や時・場所について尋ねることができる。 ○who/when/where を使った質問に答えることができる。 ○序数を使って、誕生日を英語で言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本文を、意味のまとまりやイントネーションに注意して音読する。(観察) ○本文の内容を理解し、まとめることができる。(ワークシート) ○新しい文構造を、パターンプラクティスの手法で繰り返し練習する。(観察・発言) ○ペアで、お互いの部活動や習い事について、when/where で尋ねたり、答えたりする。 ○ペアで、お互いの誕生日を尋ねたり、答えたりする。(以上ワークシート・パフォーマンステスト) 	○	◎	○	○
-----	---	--	--	--	---	---	---	---

月	時数	単元(教材)名	到達目標・評価規準	学習内容・評価方法	評価の観点			
					ア	イ	ウ	エ
	2	Lesson 5 文法のまとめ 〈主な言語材料〉 人称代名詞(目的格) 疑問詞を使った疑問文 (Who/When/Where)	<ul style="list-style-type: none"> ○疑問詞 who/when/where を使った疑問文の構造を正しく理解し、運用することができる。 ○人称代名詞の目的格を覚え、正しく運用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○演習プリントの問題に取り組む。 ○演習プリントの模範解答を確認する。 ○間違えた部分についての解説を共有し、理解を深める。(以上観察、演習プリント) ○基本本文の空所補充問題に取り組む。(小テスト) 				◎

1	Words and Sounds 5 〈主な言語材料〉 色と大きさを表す各語彙	<ul style="list-style-type: none"> ○「色・大きさ」を表す語彙を英語らしい音で発音することができる。 ○音を聴いて、その色・大きさを理解することができる。 ○新しい語彙を使い、好きな色を尋ねたり答えたりすることができる。 ○あるものの大きさについて、尋ねたり答えたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアで、好きな色について尋ねたり答えたりする。(観察・発表) ○身の回りのものを、その色や大きさを表す語彙を使って説明する。(ワークシート・発言) 	○	◎		○	
1	Let's Listen 2 〈主な言語材料〉	<ul style="list-style-type: none"> ○メモを取るなどの工夫で、より多くの情報を聴き取ろうとする姿勢を身につける。 ○英語以外の音から、場面の状況を推測する姿勢を身につける。 ○インタビュー場面の応答から、情報をより多く、しかも正確に聴き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音声を聴く。 ○音声を聴きながら、メモを取る。 ○音声を繰り返し聴く。(以上観察) 	○		◎		
1	Let's Talk 5 〈主な言語材料〉 Whose ... is this?	<ul style="list-style-type: none"> ○放課後の場面で、身の回りのものの持ち主を、尋ねたり答えたりすることができる。 ○持ち物が戻ってきたときのお礼を、英語で言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○モデルダイアログを練習する。 ○語彙を置き換え、新しいダイアログを練習する。(以上観察) ○ペアで、身振りや表情などを工夫しながらダイアログを演じる。(観察・発表) 	○	◎	○		

8	Lesson 6 〈主な言語材料〉 Mike plays Does Mike play ...? Mike does not play 3人称単数現在形 (肯定文/疑問文/否定文)	○友だちのすることについて、説明したり尋ねたりすることができる。 ○友だちのすることについて、英語で説明する文を書くことができる。 ○友だちや有名人のすることについての話や文章を聴いたり読んだりして、その内容を正しく聴き取ったり読みとることができる。 ○イギリスの文化について、関心を高めると共に、知識を深める。	○本文を、意味のまとまりやイントネーションに注意して音読する。(観察) ○本文の内容を理解し、まとめることができる。(ワークシート) ○新しい文構造を、パターンプラクティスの手法で繰り返し練習する。(観察・発言) ○ペアで、友だちや有名人のすることについて、尋ねたり答えたりする。(ワークシート・発表)	◎	○	○		
10								

月	時数	単元(教材)名	到達目標・評価規準	学習内容・評価方法	評価の観点			
					ア	イ	ウ	エ
	3	Lesson 6 文法のまとめ 〈主な言語材料〉 三人称単数を主語とした、 一般動詞現在形 (肯定文/疑問文/否定文)	○三人称を主語とした一般動詞の語形変化を正しく理解し、運用することができる。 ○三人称を主語とした一般動詞の文構造について、肯定文/疑問文/否	○演習プリントの問題に取り組む。 ○演習プリントの模範解答を確認する。 ○間違えた部分についての解説を共有し、理解を深める。(以上観察、演習プリント) ○基本本文の空所補充問題に取り組む。				◎

		<p>定文のそれぞれの構造の特徴や違いを正しく理解し、運用することができる。</p> <p>○一般動詞現在形の語形変化のパターンを正しく身につけている。</p>	(小テスト)				
3	<p>Review(人稱/人稱代名詞)</p> <p>〈主な言語材料〉 1/2/3 人稱の違い 人稱代名詞 (主格/所有格/目的格)</p>	<p>○1/2/3 人稱それぞれの違いを正しく理解し、運用することができる。</p> <p>○人稱代名詞の主格/所有格/目的格の違いを正しく理解し、運用することができる。</p> <p>○人稱代名詞の格ごとの形の変化を正しく身につけている。</p>	<p>○演習プリントの問題に取り組む。</p> <p>○演習プリントの模範解答を確認する。</p> <p>○間違えた部分についての解説を共有し、理解を深める。(以上観察、演習プリント)</p> <p>○基本文の空所補充問題に取り組む。</p> <p>(小テスト)</p>				◎
2	<p>Words and Sounds 6</p> <p>〈主な言語材料〉 いろいろな場所を表す語彙</p>	<p>○町の中のいろいろな「場所」を表す語彙を、英語らしい音で発音することができる。</p> <p>○音を聴いて、その場所を理解することができる。</p> <p>○新しい語彙を使い、ある場所の位地について、尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>○ある場所へ行くことを提案・誘ったり、それに応答したりすること</p>	<p>○ペアで、ある場所の位地について尋ねたり答えたりする。(観察・発表)</p> <p>○ペアで、ある場所へ行くことを相手に提案・誘う。また、それに応答する。(ワークシート・発言)</p>	○	◎		

			ができる。					
	1	Let's Listen 3 〈主な言語材料〉	<ul style="list-style-type: none"> ○メモを取るなどの工夫で、より多くの情報を聴き取ろうとする姿勢を身につける。 ○英語以外の音から、場面の状況を推測する姿勢を身につける。 ○次の授業についての連絡を聴き、情報をより多く、しかも正確に聴き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音声を聴く。 ○音声を聴きながら、メモを取る。 ○音声を繰り返し聴く。 (以上観察)	○		◎	

月	時数	単元（教材）名	到達目標・評価規準	学習内容・評価方法	評価の観点			
					ア	イ	ウ	エ
	2	Let's Talk 6 〈主な言語材料〉 Which ..., A or B?	<ul style="list-style-type: none"> ○休日の昼食の場面で、食べ物の好みを、尋ねたり答えたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○モデルダイアログを練習する。 ○語彙を置き換え、新しいダイアログを練習する。 (以上観察)	○	◎	○	

			○同じ質問を相手に返すときの表現を、英語で言うことができる。	○ペアで、身振りや表情などを工夫しながらダイアログを演じる。 (観察・発表)				
	3	Project 2 (インタビュー) 〈主な言語材料〉 Lesson4~6 の既習文構造のすべて 一般動詞を使った文 疑問詞を使った文	○インタビューの形式を理解することができる。 ○インタビューの質問内容を、英語で書くことができる。 ○インタビューの質問やその答えをを、聞き手に伝わりやすいようにイントネーションやブレスの位地などを工夫して、英語で言うことができる。	○インタビューの質問内容を考え、英語で書く。 ○必要な単語がある場合、和英辞典を使って調べる。(以上ワークシート) ○インタビュー原稿の音読練習をする。(観察) ○実際に、ALT の先生にインタビューし、相手の答えを正しく聴き取り、メモする。 ○インタビューのメモを参考に、相手の好きなことなどを英語で書く。(以上ワークシート)	◎	◎	○	
	1	For Self-study 1 英和辞書を引いてみよう	○英和辞書の引き方を理解し、実際に単語の意味を調べることができる。 ○英和辞書で調べられる項目を知る。	○未習の文章を読み、自分の知らない単語を見つける。 ○未習の語を英和辞書で調べる。 ○既習の語を英和辞書で調べ、新しい意味を見つける。(以上ワークシート)	○			◎
1 1	8	Lesson 7 〈主な言語材料〉 Koji can play Can Koji play ...?	○英語で相づちを打つ表現を知り、会話を続けることができる。 ○自分や友だちの得意なことについて、can を使って表現することができる。	○本文を、意味のまとまりやイントネーションに注意して音読する。(観察) ○本文の内容を理解し、まとめることができる。(ワークシ	○	◎	○	○

		<p>Koji cannot play 助動詞 can (肯定文/疑問文/否定文)</p>	<p>できる。 ○友だちの得意なことについて、can を使って尋ねたり、その答えを正しく聴き取ることができる。 ○自分や友だちの苦手なことについて、cannot を使って表現することができる。 ○いろいろなスポーツ競技や、オリンピック・パラリンピックについての関心を高める。</p>	<p>ト) ○新しい文構造を、パターンプラクティスの手法で繰り返し練習する。(観察・発言) ○ペアで、相手や、共通の友だちや有名人の得意なことについて、尋ねたり答えたりする。(ワークシート・パフォーマンステスト)</p>				
--	--	--	---	--	--	--	--	--

月	時数	単元(教材)名	到達目標・評価規準	学習内容	評価の観点			
					ア	イ	ウ	エ
	2	<p>Lesson 7 文法のまとめ (主な言語材料) 助動詞 can (肯定文/疑問文/否定文)</p>	<p>○助動詞 can を使った文構造について、肯定文/疑問文/否定文のそれぞれの構造の特徴や違いを正しく理解し、運用することができる。</p>	<p>○演習プリントの問題に取り組む。 ○演習プリントの模範解答を確認する。 ○間違えた部分についての解説を共有し、理解を深める。(以上観察、演習プリント) ○基本文の空所補充問題に取り組む。(小テスト)</p>				◎

	1	Let's Listen 4 〈主な言語材料〉	<ul style="list-style-type: none"> ○メモを取るなどの工夫で、より多くの情報を聴き取ろうとする姿勢を身につける。 ○英語以外の音から、場面の状況を推測する姿勢を身につける。 ○テレビ番組の音声を聴き、情報をより多く、しかも正確に聴き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音声を聴く。 ○音声を聴きながら、メモを取る。 ○音声を繰り返し聴く。 (以上観察) 	○		◎		
	2	Let's Talk 7 〈主な言語材料〉 Can you ...? 依頼する 承諾する/断る	<ul style="list-style-type: none"> ○電話の場面で、'Can you ...?'を使って、相手に物事を依頼することができる。 ○相手の依頼を聴いて、それを承諾したり断ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○モデルダイアログを練習する。 ○語彙を置き換え、新しいダイアログを練習する。 (以上観察) ○ペアで、身振りや表情などを工夫しながらダイアログを演じる。 (観察・発表) 	○	◎	○		
	9	Lesson 8 〈主な言語材料〉 Tom is studying Is Tom studying ...? Tom is not studying 現在進行形 (肯定文/疑問文/否定文)	<ul style="list-style-type: none"> ○現在進行形の表現を正しく理解し、運用することができる。 ○絵を見て、登場人物がしていることについて尋ねたり答えたりすることができる。 ○メールを読んで、そこに書かれている事実を、正しく読みとることができる。 ○アメリカの中学校生活についての 	<ul style="list-style-type: none"> ○本文を、意味のまとまりやイントネーションに注意して音読する。 (観察) ○本文の内容を理解し、まとめることができる。 (ワークシート) ○新しい文構造を、パターンプラクティスの手法で繰り返し練習する。 (観察・発言) ○新しい文構造を用いて、スリーヒントクイズを作る。 	○	◎	○	○	
1 2									

			関心を高め、日本との違いを知る。				
1	USE SPEAK スリーヒントクイズ	○現在進行形を用いて、スリーヒントクイズを作ることができる。	○相手のスリーヒントクイズを聴き、答える。 (観察・発表)	○	◎	◎	○
2	Lesson 8 文法のまとめ (主な言語材料) 現在進行形 (肯定文/疑問文/否定文)	○現在進行形を使った文構造について、肯定文/疑問文/否定文のそれぞれの構造の特徴や違いを正しく理解し、運用することができる。	○演習プリントの問題に取り組む。 ○演習プリントの模範解答を確認する。 ○間違えた部分についての解説を共有し、理解を深める。(以上観察、演習プリント) ○基本文の空所補充問題に取り組む。 (小テスト)				◎

月	時数	単元(教材)名	到達目標・評価規準	学習内容	評価の観点			
					ア	イ	ウ	エ
1	1	Let's Listen 5 (主な言語材料)	○メモを取るなどの工夫で、より多くの情報を聴き取ろうとする姿勢を身につける。 ○英語以外の音から、場面の状況を推測する姿勢を身につける。	○音声を聴く。 ○音声を聴きながら、メモを取る。 ○音声を繰り返し聴く。 (以上観察)	○		◎	

			○テレビ番組の音声を聴き、情報をより多く、しかも正確に聴き取ることができる。					
1	Let's Talk 8 〈主な言語材料〉 How can we go to ...? 交通手段を尋ねる 説明する 提案する	○英語で交通手段を尋ねることが、できる。 ○交通手段や距離を説明することができる。 ○相手を誘ったり、提案することができる。	○モデルダイアログを練習する。 ○語彙を置き換え、新しいダイアログを練習する。(以上観察) ○ペアで、身振りや表情などを工夫しながらダイアログを演じる。(パフォーマンステスト)	○	◎	○		
10	Lesson 9 〈主な言語材料〉 Amy played Did Amy play ...? Amy did not play Amy went 一般動詞過去形 (肯定文/疑問文/否定文) 規則動詞/不規則動詞	○一般動詞の過去形について、その語形変化の特徴を理解する。 ○一般動詞の過去形を使って、過去の出来事を英語で表現することができる。 ○日本の年中行事について書かれた文章を読み、内容を正しく読みとることができる。 ○日本の身近な年中行事について、関心を高める。	○本文を、意味のまとまりやイントネーションに注意して音読する。(観察) ○本文の内容を理解し、まとめることができる。(ワークシート) ○新しい文構造を、パターンプラクティスの手法で繰り返し練習する。(観察・発言) ○先週末の出来事を、過去形を使って表現する。(発表・ワークシート)		◎	○	○	
2								

	2	USE WRITE 学校生活について書こう (主な言語材料) 1年間に学習したすべての文構造	<ul style="list-style-type: none"> ○モデル記事の内容を読みとることができる。 ○1年間の学校生活の中で印象に残った出来事を、英語で書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○モデル記事を読み、その内容をまとめる。 ○印象に残った出来事について、日本語でメモを作る。 ○メモをもとに、英語で記事を書く。 ○必要な単語を、和英辞書で調べる。 		◎	○	○

月	時数	単元(教材)名	到達目標・評価規準	学習内容	評価の観点			
					ア	イ	ウ	エ
	5	Lesson 9 文法のまとめ (主な言語材料)	<ul style="list-style-type: none"> ○一般動詞過去形の語形変化の特徴について正しく理解することができる。 ○一般動詞過去形を使った文構造について、肯定文/疑問文/否定文のそれぞれの構造の特徴や違いを正しく理解し運用することができる。 ○規則変化動詞の過去形の語形変化のパターンを、正しく身につけている。 ○不規則変化動詞の過去形の発音・つづりを正しく身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○演習プリントの問題に取り組む。 ○演習プリントの模範解答を確認する。 ○間違えた部分についての解説を共有し、理解を深める。(以上観察、演習プリント) ○基本文の空所補充問題に取り組む。(小テスト) ○規則変化動詞の過去形の語形変化についてまとめる。(ワークシート) ○不規則変化動詞の過去形について、まとめる。 				◎

				(ワークシート)				
1	Let's Listen 6 〈主な言語材料〉	<ul style="list-style-type: none"> ○メモを取るなどの工夫で、より多くの情報を聴き取ろうとする姿勢を身につける。 ○自分が昔話についてすでに知っている知識や、与えられた絵や写真をヒントにして、音声の内容を推測する姿勢を身につける。 ○日本の昔話を聴き、情報をより多く、しかも正確に聴き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○音声を聴く。 ○音声を聴きながら、メモを取る。 ○音声を繰り返し聴く。 <p style="text-align: right;">(以上観察)</p>	○		◎		
2	Let's Talk 9 〈主な言語材料〉 Why...? 理由を尋ねる 賛成する	<ul style="list-style-type: none"> ○'Why...?' 'Because....'を使って、理由を尋ねたり説明したりすることができる。 ○相手に賛成する表現を知り、運用することができる。 ○「驚き」を英語で表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○モデルダイアログを練習する。 ○語彙を置き換え、新しいダイアログを練習する。 ○ペアで、身振りや表情などを工夫しながらダイアログを演じる。 <p style="text-align: right;">(以上観察) (観察・発表)</p>	○	◎	○		

3	1	For Self-study 2 単語を覚えよう	○単語を覚えるための様々な手だてについての知識を増やす。	○フォニックスのルールを復習する。 ○特徴的なアクセントをもつ語を復習する。 ○名詞や動詞を視覚的なヒント(絵)と共に学習する。 ○複数の意味をもつ語を、それぞれの意味に特化した例文と共に学習する。 (以上観察)	○			◎

月	時数	単元(教材)名	到達目標・評価規準	学習内容	評価の観点			
					ア	イ	ウ	エ
	3	Project3 Show & Tell (主な言語材料) Lesson 1~9で既習の文構造すべて	○原稿作りに際して、アイディアマップの手法を知り、実際に活用することができる。 ○スピーチに際して、 Show & Tell の手法を知り、実際に活用することができる。 ○モデルスピーチを聴いて、その内容を正しく聴き取ることができる。 ○自分の大切なものについて、5文程度の英文を書くことができる。 ○原稿をもとに、 Show & Tell の手法でスピーチをすることができる。	○自分の大切なものについて、アイディアマップを作る。 ○アイディアマップをもとに、5文程度の英文を書く。(ワークシート) ○原稿をもとに、音読の練習をする。 (観察) ○実際にスピーチをする。(発表) ○クラスメートの発表を聴きその内容を理解したり、スピーチの姿勢などを評価する。(ワークシート)	○	◎	○	

5	Let's Read 〈主な言語材料〉 Lesson 1~9で既習の文 構造すべて	○登場人物の心情を理解し、音読することができる。 ○物語文のあらすじを読みとることができる。	○物語文を読む。 ○あらすじを理解し、まとめることができる。 (ワークシート)	○		◎		
2	語彙の総復習 〈主な言語材料〉 既習の語彙リスト	○既習の語彙のうちの主なもの(教科書で太字で掲載されているもの)について、その発音・意味・つづりを正しく身につけている。	○語彙リストを見て、発音練習をする。(観察) ○語彙リストを見て、意味を確認する。 ○語彙リストを見て、つづりを確認する。 (以上ワークシート)				◎	

